

令和4年7月14日（木）14：00～16：00



京都発 脱炭素ライフスタイル 推進チーム

京創ミーティング

第4回会議



本日の内容

1 4 : 0 0	開会 (5)
1 4 : 0 5	挨拶 (5)
1 4 : 1 0	次第説明 (5)
1 4 : 1 5	説明 (4 0) ・ 2 0 5 0 年の脱炭素ライフスタイルビジョン (5) ・ キャッチコピー (1 5) (ご意見をお聞かせください。) ・ 2 0 3 0 年の目標・指標 (5) ・ 2 0 3 0 年のアクション・プロジェクト (5) ・ 今後の活動 (1 0)
↓	
1 4 : 5 5	京創ミーティング推進メンバーより一言 (6 0)
1 5 : 5 5	まとめ (5)
1 6 : 0 0	閉会 (記念撮影)

2050年の脱炭素ライフスタイルビジョン

(参考)第3回会議までの2050年の脱炭素ライフスタイルビジョン

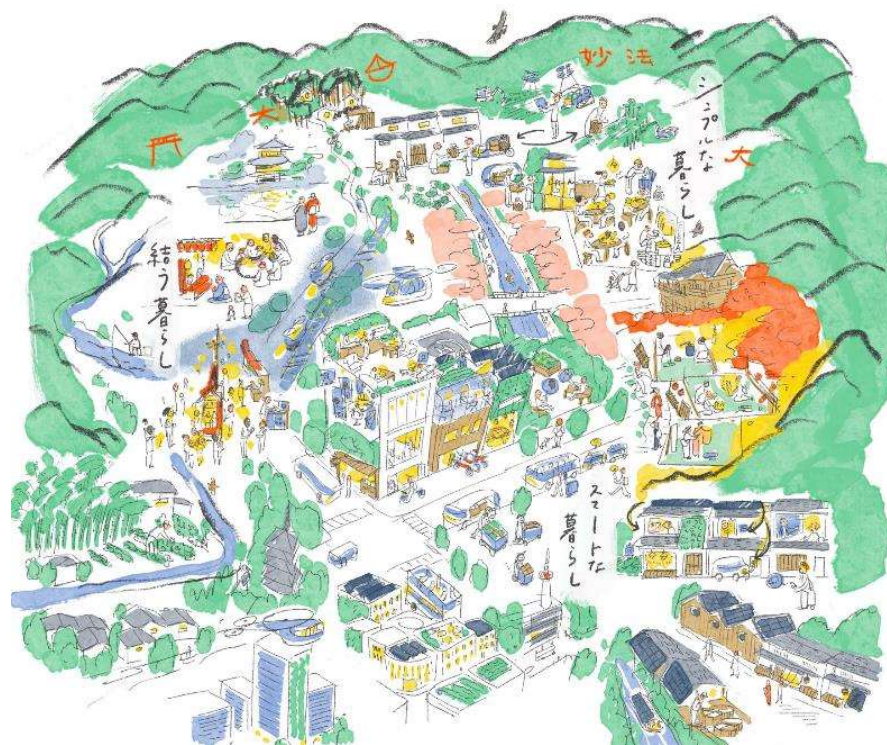
京都の自然と共生する文化やしまつのことを礎に
一人ひとりがライフスタイルに合った持続可能な暮らしを選択し、
カーボンニュートラルを実現している社会

豊かさ = WELL BEING

ていねいな
暮らし

結う
暮らし

スマートな
暮らし



2050年の脱炭素ライフスタイルビジョン

京都の自然と共生する文化やしまつのことを礎に
自分らしい持続可能な暮らしの選択で実現する
カーボンニュートラルで豊かな社会

2050年の豊かな暮らし

◆ていねいな暮らし【消費行動】

必要で長く使える「ほんまもん」を愛し、モノのストーリーを大切にする、心地よい暮らし

◆スマートな暮らし【住まい】

テクノロジーと京都の知恵に支えられた高効率で快適な暮らし

◆結う暮らし【つながり】

自然に感謝し、地域や世代間でつながることで、安心と豊かさがある暮らし

ていねいな暮らし

必要で長く使える「ほんまもん」を愛し、モノのストーリーを大切にする、心地よい暮らし

顔の見える消費

作り手と使い手がつながり、人も地域も豊かにする消費

食の文化

京野菜をはじめ、旬の食材を利用した健康的な京の食文化

京都の精神

「もったいない」「しまつのころ」の精神が息づく、サーキュラーエコノミー※で、モノを大切にする暮らし

サステナブルな消費

再生可能資源やシェアリングなど、環境負荷が小さいものやサービスが当たり前



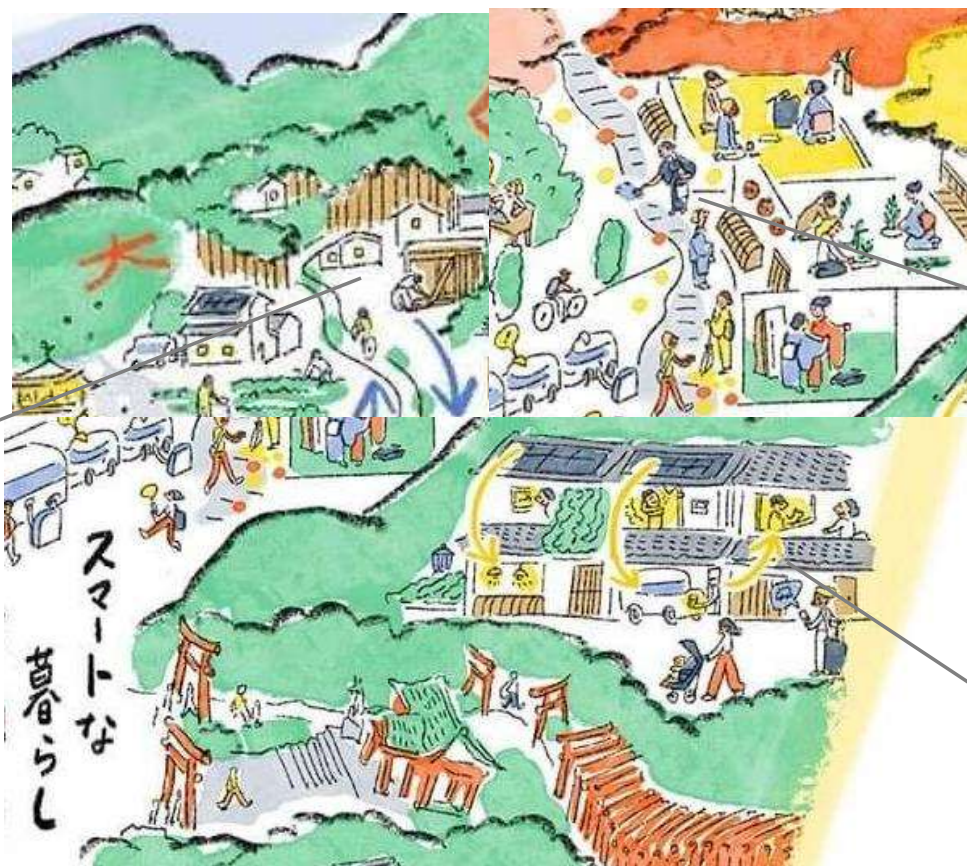
※資源投入量・消費量を抑えつつ、既存資源を有効活用しながら、サービス化等を通じて付加価値を生み出す経済活動

スマートな暮らし

テクノロジーと京都の知恵に支えられた高効率で快適な暮らし

木の文化

木と土から伝わる温もりを感じ、京都の森を守り育てる住まい



京都の知恵

自然と共生する知恵や文化、伝統で彩る暮らし

新技術

進取の気風を礎に、新たな技術を活かした、健康で快適なカーボンニュートラルな暮らし

結う暮らし

自然に感謝し、地域や世代間でつながることで安心と豊かさがある暮らし

関係人口

都市部と山間部との行き来が、
地域の元気にもつながる暮らし

地域活性化

おかげさま・お互いさまの精神
を礎に、地域課題×環境課題を
共有して解決

教育

地域や多様な世代が学び
合える暮らし

自然との共生

伝統文化とともに、地域の
自然や豊かな恵みを守り、
楽しむ暮らし

イノベーションの担い手

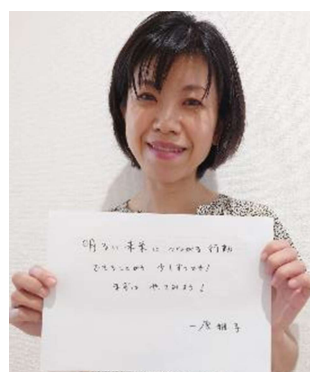
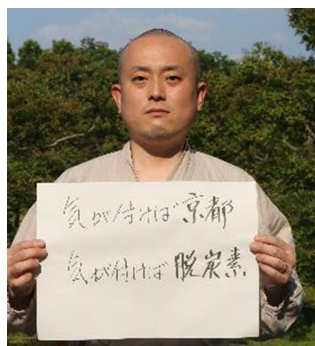
ソーシャルビジネスや
スタートアップが集積し、
イノベーションが生まれ
るエコシステムの構築

地域循環

ヒト・モノ・カネ・情報・エネ
ルギーが循環する地域経済モデ
ルの構築



推進チームからの2050年に向けたキャッチコピー



キャッチコピー

◆イメージ 脱炭素を目指した短いフレーズ

◆コンセプト

誰に

京都市民【特に、脱炭素に関心はあるがまだ行動に移せていない層】

- ・脱炭素と言われても、何をすればいいのかわからない
- ・地球温暖化問題に対して行動しなくてはと思いつつ、どこか面倒、無駄と感じる

何のために

ビジョンの実現に向けて、市民がCO₂排出の少ない脱炭素型のライフスタイルに転換するきっかけづくり

どのように
広げるか

ポスター（市政広報板など）、広報発表、市民しんぶん
公式ホームページ開設

◆役割

- ・ビジョンへの誘導、足掛かりを作る
- ・「できない」→「したい」「できる」へ。ワクワク感を感じさせる
- ・今の自分に関係があると思ってもらう。話者は京都市民
- ・少し意識を変えてもらい、まずは行動に移してもらう
- ・グローバルな視点

推進チームのキャッチコピー(前回のご意見)

推進チームのキャッチコピー案の一覧

- Enjoy KYOTO 地球に寄り添う もっといい暮らし
- あなたの脱〇〇は、なんですか？
- 田畑を次の世代につなぐ
- 気が付けば京都 気が付けば脱炭素
- 京都が世界一の脱炭素意識を持つ市民集団になる。
- 穏やかな鴨川を未来に残す事 #カーボンニュートラル
- 映える街つくろう ゼロカーボンチャレンジ！！
- 明るい未来につながる行動 できることから少しずつでも！ まずはやってみよう！
- 未来の種がここにある
- 脱炭素型の京都へ 暮らしをアップデート！！
- 一人一人の一步が作る。心地良い街 京都！！
- 「やさしい」京都をつくろう
- 京都式で世界のお手本になろう

キーワード ↓

“変化”

“京都”

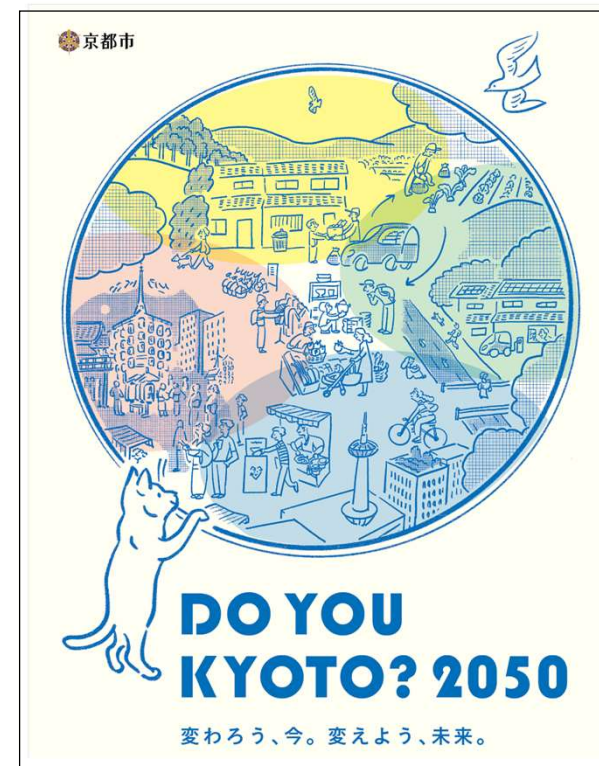
“未来”

キャッチコピー【A案】

DO YOU KYOTO? 2050

変わろう、今。変えよう、未来。

- 「DO YOU KYOTO?」を使ったコピー
- 2050年二酸化炭素排出量正味ゼロという高い目標に向けて、市民が、より主体的な行動へと転換することができるよう、これまでの「DO YOU KYOTO?」をアップデート
- サブコピーは、話者が自分から変わろうと強く呼びかける表現



キャッチコピー展開イメージ (ポスター)

キャッチコピー【B案】

**今、ちょっと変える。
未来、もっと変わる。**
京都から、カーボンニュートラルを広げよう。

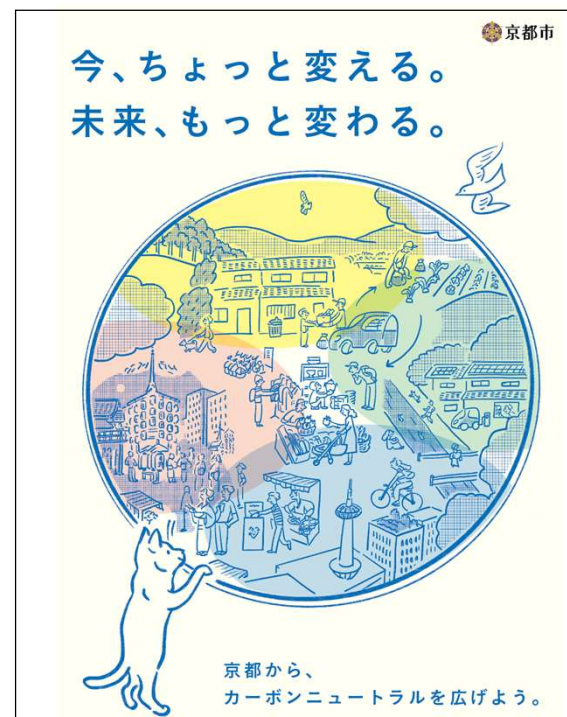
- 小さな変化が大きな変化につながるという表現（バタフライ効果）
- ハードルを下げつつもポジティブなコピーにして、ビジョンイラストの中から、自分にもできそうなことを探してもらう。

今、ちょっと変える。
未来、もっと変わる。



京都から、カーボンニュートラルを広げよう。

キャッチコピー展開イメージ（ロゴ）



キャッチコピー展開イメージ（ポスター）

(参考)DO YOU KYOTO?

「DO YOU KYOTO? = 環境にいいことしてますか？」を合言葉に、市民・事業者とともに、ノーマイカーによる公共交通の利用促進や、ライトダウン等による省エネの取組を実施するなど、環境意識の向上や環境に優しい取組の実践に向けた普及啓発を行ってきた。

「DO YOU KYOTO?」プロジェクトの主な取組実績

- ・ 毎月16日の「DO YOU KYOTO?デー」 平成20年度～

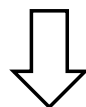
 - ノーマイカーデー（124事業者・団体）

 - ライトダウン（138事業者・団体）

 - 京灯ディナー（24店舗）

※全て令和4年6月現在数値

- ・ 京都市「DO YOU KYOTO?」大使等との連携による普及啓発 平成21年度～



エネルギー消費量の削減、ごみ量半減等の成果を上げてきた

2050年の脱炭素ライフスタイルビジョンの
キャッチコピー（A案・B案）について、
ご意見をお聞かせください。

2030年の目標・指標

2030年の目標・指標

1 世帯当たりCO₂排出量▲30.5%※

※ 2019年度比

(単位):万トン-CO₂

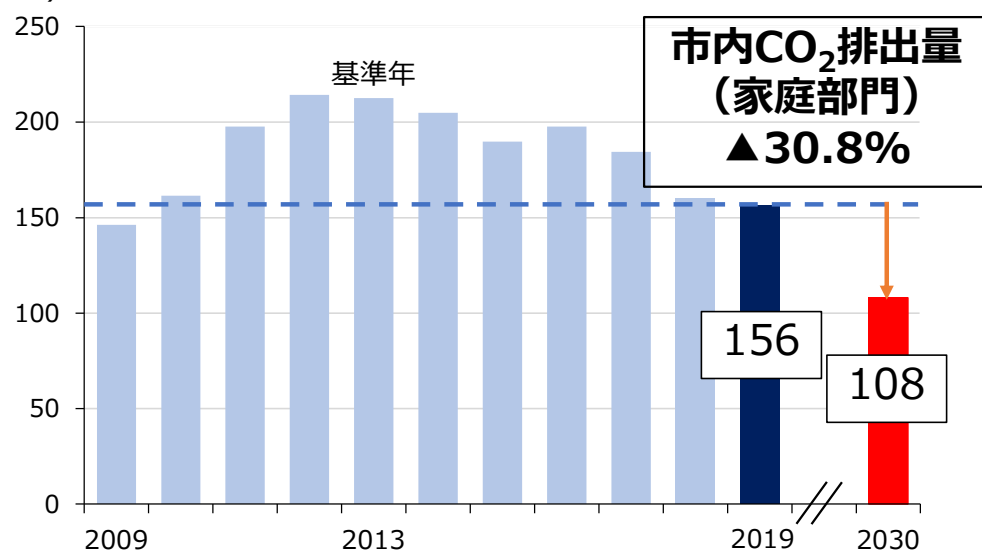


図1. 家庭部門の温室効果ガス排出量の推移

1 世帯当たりエネルギー消費量▲20.7%※

※ 2019年度比

(単位):TJ

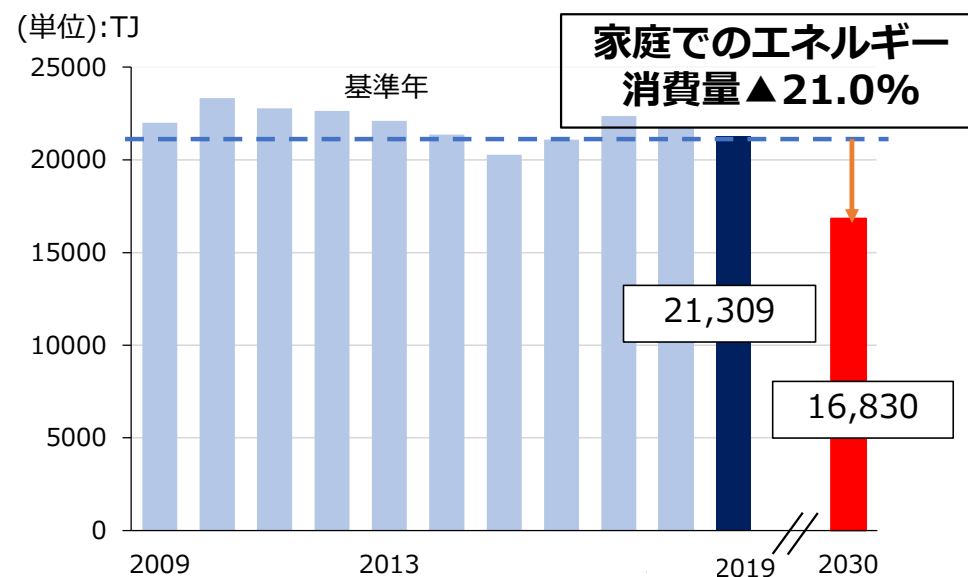


図2. 家庭部門のエネルギー消費量の推移

参考 京都市地球温暖化対策計画<2021-2030>

2030年の目標・指標【参考指標】

① ライフスタイルカーボンフットプリント※

- ・全国の平均値等を用いた概数であり、京都市域における市民行動の成果が正確に反映されるものではないため、参考指標として活用
- ・ただし、自分の行動がどれだけ地球温暖化に寄与しているかわかりやすいため、市民の行動と効果を見える化するツールとして市民ワークショップ等で活用

【1人1年あたりのライフスタイルカーボンフットプリント】現状(2015年)7,010→2030年目標：3,000

【行動によるCO₂削減量】自宅をZEHに：1,860 マイカーをEVに：170 衣類を長く着る：260 など【単位:kgCO₂/人】

※生活に伴う全ての製品やサービスのライフサイクル全般(原材料調達～廃棄・リサイクル)に伴うCO₂排出量の総量

② 主観的指標

脱炭素社会の実現だけでなく、生活の質の向上や豊かさにつながる脱炭素ライフスタイルが広がっているかを確認

- ・主観的観点での市民の意識の変容を経年的に確認
- ・今後の京創ミーティングの活動へのフィードバックに活用

指標 地球温暖化対策に**関心**があるか？
脱炭素に資する**行動**（脱炭素ライフスタイル）をとっているか？
脱炭素ライフスタイルは**生活の質を高め、豊かにする**行動だと思うか？

2030年のアクションリスト、プロジェクト

アクション・プロジェクト

消費行動

アクションを
実践しやすくなるための
プロジェクト

①使用済衣服の回収&
循環プロジェクト

★

④廃棄野菜の地域での販売

★

②四条通をサステナ
ブルのシンボルへ

★

⑤アートやデザイン
を活用したアップサ
イクルの実施

★

③里山や地域循環につ
いて知る機会の創出

★

⑥脱炭素チャレンジ

⑦菜食対応のメニューを
提供する店舗の見える化

⑧エコポイント制
度の導入

環境負荷を
見える化する

古着の利用

繊維の分別排出⇒
リサイクル

ペーパーレス化

堆肥化・回収

マイバッグなどの
携行（ワンウェイ
プラの不使用）

修理する

脱炭素系テクノロ
ジーを導入した製
品・サービスの購入

量り売り

家庭菜園・市民
農園の利用

シェアリング
サービスの利用

バイオマス素材
の利用

菜食

代替肉に
切り替える

地産地消の実践

長く着る
長く利用する

廃棄物のアップサ
イクル製品の利用

食べ残さない

2030年までに
市民に実践してほしい
アクション

アクション・プロジェクト

住まい方

アクションを
実践しやすくなるための
プロジェクト

①つながりを感じられ
る住まいづくり
(京都の冬は寒くない
プロジェクト)

先

③実証実験による
データ収集・分析と
発信

④省エネ家電の
買替ナッジ

⑧中古家電・家具2R
プラットフォームの構築

⑨情報共有の
HUBづくり

⑤住宅の再エネ・省エネ
分を取引できる仕組み

省エネ家電の利用

市内産木材の利用
・暮らしに木を取り入れる

自然で暮らしやすい工夫
(グリーンカーテン・打ち水等)

ICTによるエネルギーを見
える化し、高効率な暮らし

EVを電池として活用

植物を育てる

家具や家電のPaaS利用

修理できなくなった
家電等の回収



2030年までに
市民に実践してほしい
アクション

アクションを
実践しやすくするための
プロジェクト

2030年までに
市民に実践してほしい
アクション

②賃貸マンションの
再エネ電気切替促進

緑化に取り組む場合の
新築時における駐車場の
付置義務の緩和

⑥賃貸住宅紹介時の
省エネ性能の見える化

⑦断熱性能の良い家の
体験の場づくり

再エネ電気への
切り替え、使用

【賃貸】省エネ・
再エネ物件の選択

太陽光パネル・
蓄電池の導入

【既築】
省エネリフォーム
(環境性能向上)

ICTによりエネル
ギー見える化し、
高効率な暮らし

環境配慮マンション・
シェアハウスの選択

【共通】
メンテナンスし
ながら長く住む
(住まいは社会
の共通財産)

【新築】
ZEH物件の選択

市内産木材の利用
・暮らしに木を
取り入れる



アクション・プロジェクト

つながり

生活文化

アクションを
実践しやすくするための
プロジェクト

①京都脱炭素ツーリズムの
HUB創設

★

②環境配慮型農業
の実践

★

③地域での生ごみ堆
肥の活用推進

★

④脱炭素アンバサダー
制度

★

⑤サーキュラーエコノ
ミービジネス人材の育成
プログラム

⑥土中環境の改善

⑦ていねいな暮らし
を学べる学校

⑧歩くデジタルスタ
ンプラリー

⑨規格外野菜の販売

2030年までに
市民に実践してほしい
アクション

スマートムーブ（公
共交通機関の活用・
徒歩・自転車）

ライドシェアの利用

エコカーの活用

エコドライブの励行

テレワークの実施

コミュニティ
でエコ活動

地域で電力の融通

地域のお店で購入・修理

消費者と事業者の顔の
見える関係がある

地域や世代間での
環境教育の実践

植林・間伐をする

自分に使う時間が増加

地域の自然を楽しむ
観光、レジャー、
サイクリング

地域の緑や自然、森
川の恵みを利用する
生物多様性の保全

(参考)2030年のアクションリスト

テーマ1：消費行動

	衣	食	その他
調達	環境配慮商品の購入、必要な量だけ購入、素材や生産ルート等、モノの物語・足跡を知る、宅配を1回で受け取る		
消費	シェアリングサービスの活用 古着を購入 バイオマス・リサイクル・ リユース素材の選択 長く大切に着る お直し・リメイクファッション 修理して使う	家庭菜園・市民農園 代替肉・菜食主義・精進料理の購入 販売期限間近の商品を購入 旬の食材・地元食材の購入 食べ残さない 余った食材を活用する 食べ残し料理の持ち帰り	保有から利用（シェアリングサービス） 量り売りの利用 ペーパーレス化 プラではなく、木などバイオマス 素材の選択 マイバッグ・ボトル・ストローの携行 ワンウェイプラを使わない 日用品を長く利用する 修理して使う
リユース	フリーマーケット リユースショップ	フードドライブ フードバンク	フリーマーケット リユースショップ
リサイクル 廃棄	古着の資源回収 繊維のリサイクル 	食品のリサイクル 野菜くず等をたい肥化・回収 分別排出 	プラ・廃油のリサイクル 廃棄物のアップサイクル製品創出 分別排出 

(参考)2030年のアクションリスト

テーマ2：住まい

住居

【新築】

- ZEH(ゼロエネルギーハウス)
- 環境配慮マンション、シェアハウス
- 市内産木材の活用



【既存】

- 既存住宅の環境性能向上（省エネリフォーム）
- 既存住宅に太陽光パネル、蓄電池を導入
- 家、家具、家電、太陽光パネル等を、修理しながら長く使用
- 給湯の高効率化



【賃貸】 省エネ・再エネ物件の選択



住まい方

【エネルギーの使用】

- 省エネ家電への買替・省エネ行動の徹底（節電・節湯・自然乾燥等）
- 再エネ電気への切替・再エネ電気の使用
- エネルギーの使用量を見える化
- EVを電池として活用



【その他】

- グリーンカーテンや打ち水など自然で暮らしやすい工夫
- 植物を育てる
- 暮らしに木を取り入れる
- 家具や家電についてPaaSの利用
- 修理できなくなった家電等は回収
- クールビズ・ウォームビズの実践



(参考) 2030年のアクションリスト

テーマ3：つながり

【移動】

- スマートムーブ（公共交通機関の活用・徒歩・自転車）
- シェアリングサービス（車・自転車）の活用
- エコカー（EV・FCV）の活用
- エコドライブ、ライドシェア



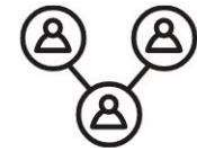
【働く】

- 自然豊かな郊外でのワーケーションの実施
- テレワークの実施



【地域活動】

- 地域で電力を融通している
- 地域団体でのエコ活動
- 地域や世代間での環境教育
- 地域で資源が循環
 - 地域のお店で購入・修理
 - 消費者と事業者の顔の見える関係



【自然環境】

- 地域の自然を楽しむ文化が当たり前
 - 生物多様性、レジャー、サイクリング
- 植林や間伐に参加する
- 地域の緑や自然、森川の恵みを大切に



(参考)プロジェクト

消費行動		先駆け ※1	コー ディ ネー タ ※2	住まい		先駆け ※1	コー ディ ネー タ ※2	つながり		先駆け ※1	コー ディ ネー タ ※2
1	使用済衣服の回収&循環プロジェクト	○	○	1	つながりを感じられる住まいづくり（京都の冬は寒くないプロジェクト）	○	○	1	京都脱炭素ツーリズムのHUB創設	○	○
2	四条通をサステナブルのシンボルへ		○	2	賃貸マンションの再エネ電気切替促進		○	2	環境配慮型農業の実践		○
3	里山や地域循環について知る機会の創出		○	3	実証実験によるデータ収集・分析と発信		○	3	地域での生ごみ堆肥の活用推進		○
4	廃棄野菜の地域での販売		○	4	省エネ家電購入促進に向けたナッジの活用			4	脱炭素アンバサダー制度		○
5	アートやデザインを活用したアップサイクルの実施		○	5	住宅の省エネ・再エネ分を取引できる仕組み			5	サーキュラーエコノミービジネス人材の育成プログラム		
6	脱炭素チャレンジ			6	賃貸住宅紹介時の省エネ性能の見える化			6	土中環境の改善		
7	菜食対応のメニューを提供する店舗の見える化			7	断熱性能の良い家の体験の場づくり			7	ていねいな暮らしを学べる学校		
8	エコポイント制度の導入			8	中古家電・家具2Rプラットフォーム			8	歩くデジタルスタンプラリー		
				9	情報共有のHUBづくり			9	規格外野菜の販売		

先駆け （※1）	第2フェーズを待たずに取組むプロジェクト
コーディネーター （※2）	各分野に精通したコーディネーターを付けて支援していくプロジェクト
印なし	第2フェーズ以降、取組む予定のプロジェクト

施策分野
再エネ省エネ
資源循環
食・農業
場づくり(体験・つながり)
調査・情報発信

27

今後の活動

ビジョン等の発信

ライフスタイルのビジョン等（京創ミーティング成果）の発表

9月下旬 広報発表

公式ホームページ

9月下旬 公開予定（随時コンテンツを追加）

ポスター

10月上旬 市政広報板等で掲示

パンフレット

令和5年3月 公的施設から個人店等まで幅広く配架予定

消費行動ワーキンググループ

④廃棄野菜の地域での販売

(写真右)
GOOD NATURE
夕市の様子

(写真下)
出店農家への
ヒアリングの様子



GOOD NATURE STATION
様の取組を視察しながら、まだ食べられるのに廃棄されてしまう野菜を”レスキュー”する方策を検討。

⑤アートやデザインを活用した アップサイクルの実施

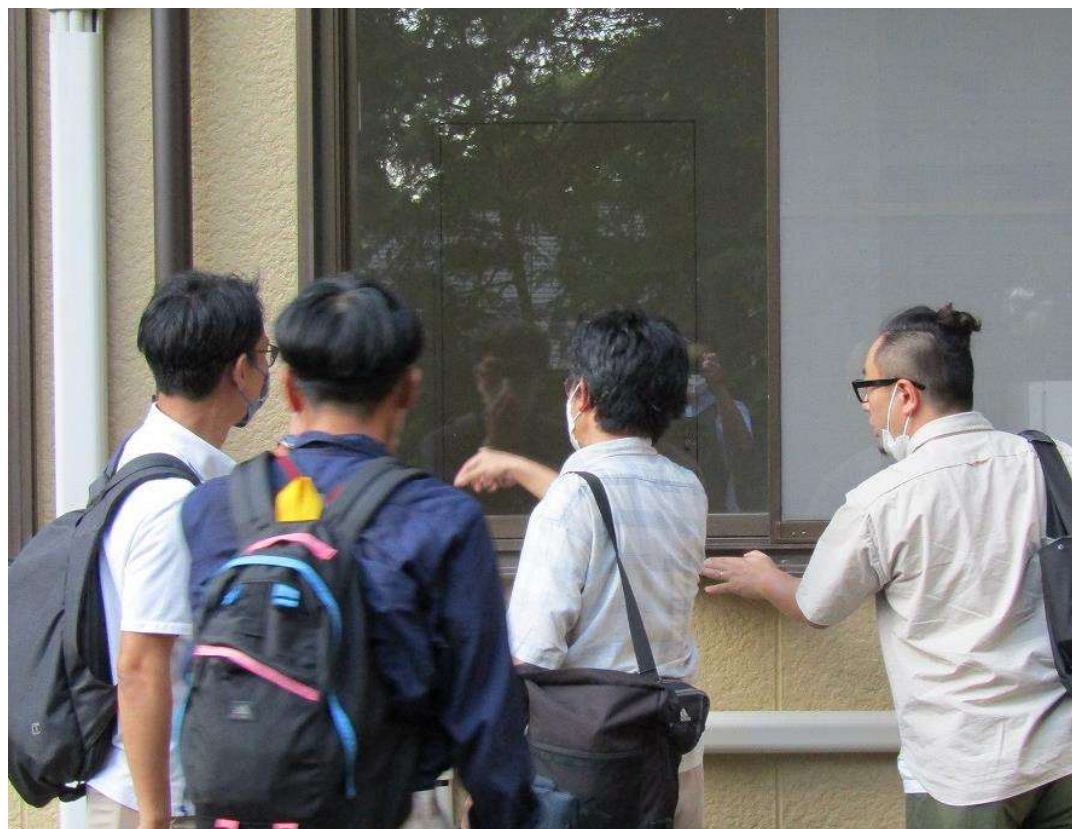
アート活動で生じる廃材をアップサイクルして販売する [副産物産店](#)様の活動や、マガザンキョウト様及び、近隣の現場視察を通して、今後の活動や課題を整理。
買い物袋の再利用の活動を「循環フェス」で展開予定！



(写真右上)
副産物産店HPより
(写真左下)
マガザンキョウト
店内視察の様子

住まいワーキンググループ

①つながりを感じられる住まいづくり（京都の冬は寒くないプロジェクト）【先駆け】



↑現地視察の様子



↑現地での打合せの様子

学生寮をフィールドに、断熱ワークショップや学生主体で取り組む環境配慮活動などの展開を検討。学生寮などの現地調査を重ね、取組内容や課題を整理。

つながりワーキンググループ

① 京都脱炭素ツーリズムのHUB創設 【先駆け】



↑ 打合せの様子



↑ 会議で共有された過去のイベント

市内での脱炭素に関する取組を集約し、ツアーを通じて広めていくことを目的に、既存の取組の情報収集や、メンバーの取組を共有。併せて、ツアーにおける脱炭素の数値効果の測定支援等も検討中。

つながりワーキンググループ

③地域での生ごみ堆肥の活用推進

家庭の生ごみ堆肥を市内拠点で回収し、地域の農家等で活用する地域循環の「[ごみカフェkyoto](#)」モデルの拡充に向け、まずは大宮交通公園の現場視察。

7月23日にはスタートイベントとして、同公園で堆肥回収イベントを開催！



↑大宮交通公園での視察の様子



NEWS・2022/07/06

ようやく行政と連携！！

先ほど京都市から広報が出て、ようやく行政との連携が本格的に始まります～!! まずは大宮交通公園での堆肥回収会からスタートで、堆肥は公園でそのまま活用してもらうことになります！ひとつ山を越えたのでここから色々な実験的な取り組みをしていけたらと思います♪

[続きを読む](#)

↑「ごみカフェkyoto」HPより

LFCコンポスト堆肥回収会 & ミニ講座を開催！

【日時】

令和4年7月23日（土）10:00～16:00

【会場】

大宮交通公園

【内容】

- (1) ミニ講座（堆肥づくりの始め方、LFCコンポストの使い方説明）
- (2) 堆肥の回収＆相談
- (3) 土中環境再生ツアー※堆肥持参者限定

※回収した堆肥は同公園の樹木や花壇の堆肥として活用することで、資源を循環させます。

WG合同会議

WG合同会議

日時：令和4年9月頃

場所：未定

参加者：全WGメンバー

※推進チームの皆様もご参加ください。

内容：各WG及びプロジェクトの取組状況の共有、連携

市民ワークショップ

(目的)

脱炭素の状況やビジョンやプロジェクト等を知り、自分ごととして考えてもらい、行動変容を起こしてもらう。

区分	独自主催のワークショップ			京都市・他団体の既存ワークショップ		
種類・名称	高校生 ワークショップ	大宮交通公園 アップサイクル イベント	アイデアソン	ちっちゃい焚き火を 囲んで語らい、いろ いろ焼いて食べる会 (主催：ロームシア ター京都等)	区まちづくり会議 (主催：区役所)	市民参加ワーク ショップ WE LOVE KYOTO (主催：京都市)
対象	高校生	子育て世代	起業を目指す 学生	一般 (ボランティア)	一般	一般
時期	秋頃まで	11月上旬	12月	9月下旬	秋頃	11月22日(火)
方法	カードゲーム等を 通じて脱炭素を 学ぶ	イベント内で脱 炭素に資するア クションを検討	プロジェクトに関 連するビジネスア イデアを検討	アートを切り口とし たイベントで、脱炭 素ライフスタイルを 広めるための作戦を 検討	区基本計画の実現 に向けた会議で、 脱炭素に資する アクションを検討	市職員のファシリ テーターを通じて、 脱炭素に資する アクションを検討

カーボンフットプリントを活用したワークショップ

対象	大学生
実施時期	令和4年秋頃
目的	カーボンフットプリントを活用し、行動と効果を見える化することにより、市民の行動変容の把握や促進策を調査する
内容	(1日目) ①現状のCFPを測定する ②脱炭素ライフスタイルの取組の選択肢を知る ③自分がやってみたい取組を選択する (2日目) ※2週間後 ①選択した取組ができたか、話し合う ②できなかった取組があれば、なぜできなかったか、話し合う ③多くの人が脱炭素ライフスタイルを実践するためには、どうすればよいか話し合う
協力(予定)	国立環境研究所、地球環境戦略研究機関(IGES)

市民ライター育成プログラム

対象	学生や子育て世代を中心とする市民 12名	
実施時期	令和4年9月末～	
目的	市民自らがライターとなり、脱炭素ライフスタイルの必要性を自分ごとと 感じるとともに、それを多くの人に感じてほしいという意欲を育て、市民目 線での取組事例を発信する。	
内容	・市民ライターの募集 令和4年9月頃 ・市民ライター講習（3回） 令和4年10月～12月 ・取材 令和4年11月頃 （自身が脱炭素ライフスタイルに資すると感じる人、場所、お店等を取材） ・公式ホームページに掲載 令和5年2月頃	

推進チームのスケジュール

第5回会議（予定）

日時：令和5年3月頃

内容：取組状況の報告

情報発信

プロジェクト

市民ワークショップ

市民ライター

※京創ミーティングにおける今後の活動等については、メールやFacebook等で随時情報提供しますので、ご確認ください。

今後の京創ミーティングの活動に期待すること、
ご自身で取り組みたい活動等について、
お聞かせください。

まとめ

写真撮影